

## 「東郷学園義務教育学校の藤川天神史跡活用の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

### 2 学年・人数

5～7年生（計30人）及び4年生（55人）

### 3 日時・場所

#### (1) 学習会等の日時・場所

令和元年6月～11月 学習会：ふるさと・コミュニケーション科の時間【5～7年生】

令和元年6月4日（火）文化財ウォッチング（藤川天神）【5～7年生】

令和元年6月25日（火）文化財ウォッチング（藤川天神）【5～7年生】

令和元年7月～10月 発表資料作成【5～7年生】

令和2年2月26日（水）観梅会【4年生】

#### (2) 発表の日時・場所

令和元年11月8日（金）5～7ステージ交流学習発表会【5～7年生】

令和2年2月26日（水）観梅会【4年生】

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

藤川天神（ふじかわてんじん）：正保四年（1647年）に再興

臥竜梅（がりゅうばい）：樹齢千年を超える

#### (2) 特徴

藤川天神の祭神は学問の神様として親しまれる菅原道真公で「菅原神社」とも呼ばれてる。道真公が太宰府に左遷され、さらに逃れて藤川北野の地に隠退、没したと言われ、毎年、大晦日から三が日は大勢の初詣客で賑わい、また受験シーズンには合格を祈願する受験生や家族などで賑わいを見せる。

境内の梅園には、約150本の梅の木があり、このうち50株の梅はその幹を地上に伏せ、その姿がまるで竜のように見えることから「臥竜梅」と呼ばれている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

旧藤川小学校では、ふるさと・コミュニケーション科の学習で、毎年藤川天神を調べる学習を行っていた。この流れを引き継ぎ、現在、東郷学園義務教育学校の5～7年生のふるさと・コミュニケーション科の学習で、藤川天神を調べる学習を行っている。

旧藤川小学校では、菅原神社の宮司の方に協力を依頼し、藤川天神の歴史や臥竜梅について講話をしていただいていた。現在、東郷学園義務教育学校の活動も、同様のスタイルを継続している。歴史に興味をもっている児童生徒も多く、菅原道真とのつながりや神社を再興した島津家についても詳しく調べる様子が見られる。

4年生が実施する観梅会も、旧藤川小学校から続くものである。臥竜梅は、毎年2月中旬から3月上旬に薄いピンク色の花を咲かせ多くの観梅客で賑わいを見せる。東郷学園義務教育学校の4年児童も、梅の時期に合わせて児童一人一人が梅の句を作り、満開の梅の花を前に自作の句を詠む活動を行っている。

## 6 活用の取組の工夫した点

ふるさと東郷には、多くの歴史や文化があり、現在までそのよさやすばらしさを継承している。児童生徒も、藤川天神の歴史を学習していく中でふるさととのよさに気づき、ふるさとに誇りをもつようになっている。

また、4年児童が行う観梅会には、テレビや新聞等多くの報道関係者が訪れ、梅の名所である藤川天神を県下にPRする。また、児童の作った句は、境内の茶屋に掲示され、観光客からも好評である。4年児童にとって、観梅会は思い出深い行事の一つである。

## 7 取組の様子（研究発表等）



【5～7ステージ学習発表会】



【観梅会（写真は、平成30年度のもの）】

## 8 参加児童生徒・保護者・教職員等の感想・意見

### 【児童生徒】

- 藤川天神の臥竜梅の前で、毎年梅の俳句を発表することが楽しみです。テレビにも出るので、藤川が有名になって観光客がいっぱいくるのでうれしいです。
- 藤川天神を調べてみて、初めて知ることがたくさんあったので驚きました。わたしが住んでいる東郷町に、こんなに有名な神社があることがとても自慢です。調べて分かったことをたくさんの人に知らせたいです。

### 【教職員】

- 東郷には、他に誇れる歴史や文化が息づいている。児童生徒がその歴史や文化にふれることで、ふるさとを大切に思ったり、誇りに思ったりできると思う。このような学習を系統的に進めていく必要がある。

### 【保護者】

- 自分が子どもの頃に身近にあっても詳しく調べることはなかった。子どもたちが学んだことを聞くことで、改めて東郷を見直すきっかけになりました。子どもたちにふるさとを大切に思う気持ちをもっと育てていきたいと感じました。